地域連携
NEWS

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター

〒173-0015　東京都板橋区栄町 35 番 2 号
TEL：03-3964-1141（代表）
地域連携課　医療連携係 / 2026年　9月号



血液内科のご紹介

血液内科 兼 輸血・細胞療法科　医長　小倉 和外

当科では血液疾患全般、その中でも血液悪性疾患を中心に診療を行っております。紹介患者さんは高齢な患者さんが中心となっておりますが、若年の患者さんの診療も行っております。当科は 2008 年より日本造血・免疫細胞移植学会認定施設として造血幹細胞移植を積極的に施行しております。同種移植に関しては、毒性が強く移植適応年齢は 60 歳台までを上限とされていますが、昨今の社会の高齢化に伴って体力を維持した高齢患者さんも増加しており、高齢者の特性に配慮し身体の負担を軽減した「やさしい移植」を目指して、65 歳以上（特に 70 歳以上）の患者さんに対する同種移植治療に積極的に取り組んでおります。当科での年間移植症例数は 20 ～ 25 例ですが、8 割が 65 歳以上の患者さんで、70 歳台の患者さんに対する移植治療も積極的に取り組み、これまでに 100 例を超えてきております。移植治療は様々な専門職が関わり、多職種チーム医療が必要で当科では多職種カンファレンス、移植症例カンファレンスを週 1 回行い、情報共有と移植適応の検討を行っています。適応となる患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください。

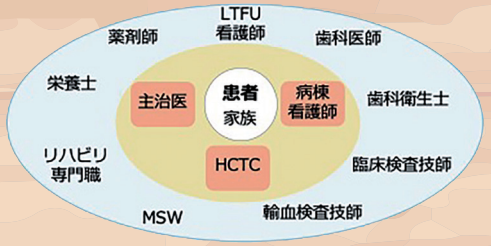
また、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫に関しても副作用の少ない抗がん剤の開発が進み、高齢者に対して身体への負担の少ない化学療法も進んできており、当科でも積極的に化学療法を行っております。血液疾患が疑われる患者さんに関しましてはお気軽にご紹介ください。





造血幹細胞移植外来について

移植後は時間の経過とともに、感染症や移植片対宿主病（GVHD）、さまざまな晩期合併症が起こることがあります。これらを早期に発見し、適切な治療やケアを行い、QOLの維持・向上を目指して、継続的な長期フォローアップを行っています。対象は、移植が終わって退院した後の患者さんやご家族です。フォローアップ外来では、日本造血・免疫細胞療法学会が主催する研修を終了した看護師が面談を行い、体調や生活状況、身体症状を把握して医師の診察につなげ、症状の対処や生活の工夫などを指導しています。急な体調変化があるときは電話相談も受けており、患者さんやご家族が安心して移植後の生活を送れるように支援しています。

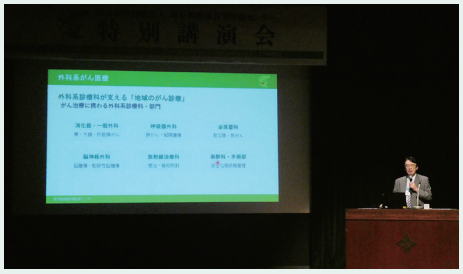


連携懇親会開催報告

令和８年７月２日（金）、板橋区立文化会館にて特別講演会・連携懇親会を開催いたしました。第１部では新センター長挨拶をはじめ、がん診療や脳卒中治療、放射線治療等に関する講演を行いました。第２部の懇親会と合わせて、86 機関 179 名の皆様にご参加いただき、盛会のうちに終えることができましたこと心より御礼申し上げます。

今後とも地域の皆様のお役に立てるよう、一層努力してまいります。

引き続き連携のほど何卒よろしくお願い申し上げます。





外来医師配置表はこちらよりご確認いただけます。

各種問い合わせ



- **医療連携係（直通）** ☎ **03-3579-6963**（平日 9:00 ～ 17：00）
- **予約センター** ☎ **03-3964-4890**（平日 9:00 ～ 17：00）
- **緊急受診・緊急入院のご相談** ☎ **03-3964-1141**
  ※「緊急受診（入院）の依頼です。〇〇科の連携当番医につないでください」とお話ください。
- **脳卒中科ホットライン** ☎ **080-4116-1141【医師直通】**
  ※脳卒中の発症が疑われる場合にご活用下さい。
- **循環器ホットライン** ☎ **03-3962-8325【医師直通】**
  ※急性冠症候群、弁膜症、心不全、不整脈、大動脈瘤、大動脈解離、急性動脈閉塞など緊急対応が必要な時、その他お困りの時は、いつでもご連絡下さい。
- **急性腹症外科ホットライン** ☎ **03-3964-3260**（平日 9:00 ～ 17：00）**【医師直通】**
  ※令和７年４月21日より電話番号変更

※虫垂炎、胆嚢炎、消化管穿孔、ヘルニア嵌頓、絞扼性腸閉塞などを疑う急な腹痛。診断がついていない状態でも構いません。